

## 目次

■新しい図書館システムが稼働しました	… P2~3
■図書館トピックス	… P4~5
■県立図書館イベント情報	… P6
■郷土資料情報	… P7
■使って便利！図書館サービス	… P8

※緑陰通信は県立図書館のホームページ  
(<http://www2.lib.pref.miyazaki.jp/>)からもご覧いただけます。

## 「県立図書館は県民の図書館」



宮崎県立図書館館長  
福田 裕幸

4月に県立図書館に異動してきました。県総合文化公園の萌える新緑に囲まれてこの原稿を書いています。図書館が発行する「緑陰通信」への寄稿を久しぶりに復活させることになり、その第1号を書くという重責を担うことになりました。あまり読書好きとは言えなかった私が、図書館の一室で図書館便りへの寄稿文を書いている…何か不思議で、申し訳ない気持ちです。

県立図書館は開館して113年、由緒ある歴史を持っていますが、特に昭和63年の現在地への移転新築を契機に、施設の充実や立地環境の良さから利用者が飛躍的に増えました。移転前の年間利用者数は約6万人、それが63年度は約67万人にもなったのです。そして、平成10、11年度には70万の大台に乗りました。

しかし、それをピークに減りはじめ、26年度は約48万人に止まっています。県内公共図書館の整備が進んだことや、読書離れ、少子化、あるいは電子書籍の出現といったことも理由なのでしょうか。

この状況に我が図書館も手をこまねいていた訳ではなく、蔵書の充実はもちろん、ここに足を運んでいただくための様々な取組を行ってきました。祝日開館や日祝日の開館時間延長を行い、年間を通して、映写会、コンサート、文化講座、展示会、読み聞かせ、ビジネス・法律・健康などの無料相談会、その他多くの催しも行い、レファレンスサービス（調査相談）にも力を入れています。また、インターネットやデータベースの利用もできます。これまで、図書館は本を貸し出す所との認識しかなかった私は、その多彩さに驚きました。今後もより魅力的な企画に知恵を絞らなければなりません。

ここまでは、県立図書館に直接足を運ぶ利用者に関わる話です。実は、というか当たり前というか、当館窓口で直接資料を借りる方の9割以上は宮崎市在住です。他の地域の方にとってここは遠いのです。でも、県立図書館は県民の図書館です。直接来訪できない方にも広く利用していただける存在でなければいけません。

ん。図書館の機能や役割をまだ十分わかっていない私ですが、今確かに思っているのはそのことです。

既に、市町村立図書館、学校、児童施設、団体などへの図書の貸出によって、直接来なくても県立図書館の本を利用できるシステムにはなっています。それでも宮崎市以外の貸出利用は2割弱に止まっており、まだまだ十分とは言えません。

そこで、今年3月から来館が困難な方向への無料宅配や視覚障がい等で本が読めない方向への音声録音図書（CD）の貸出など新たなサービスを始めました。今後も、借りたい時が読みたい時、できるだけ早く本を手元にとの思いに応えるために、本の物流システムの改善を、あるいは一般の方向への宅配は…将来的にはコンビニや郵便局との連携・活用もあるのかもしれない。

県内に、企業、病院、団体などのライブラリーほどのくらいあるのかないのか。そこの連携は考えられないでしょうか。

さらに、本や図書館に関心のない人にアピールするよい方策はないのでしょうか。興味のないものに目を向けてもらうのは本当に難しいのですが、フェイスブックで友達の輪的に情報を流すとか、何か困ったらとにかく図書館に尋ねてみようと思っていただけるくらいにレファレンス機能を充実させるとか…。

それには、費用や人員体制の問題、他にも私が気づいていない課題があるでしょう。簡単ではありませんが、県立図書館はあれこれ一生懸命考えてみます。

県立図書館は社会教育を担う中核施設であり、地域の情報拠点であり、県民全体のための図書館です。今後も時代の推移、社会の変化に伴い、県立図書館に求められる機能、役割は高度で多様なものになるでしょう。そのニーズに応じて、より多くの県民の皆様にとって便利で、親しみの持てる場所となれるように！と心の中でつぶやいています。



# 新しい図書館システムが稼働しました

図書館システムとは、図書館の資料（本）の管理や、皆様への本の貸出などを行うコンピュータシステムのことです。新しい図書館システムは、平成27年2月24日から稼働しました。

## ◆利用できる便利な機能の一部◆

(※) … ご利用いただく前に、事前登録が必要なもの

- (1) インターネットから自分の利用状況（借りている本や予約の順番など）が確認できます。(※)
- (2) インターネットから貸出中の本への予約ができます。(※)
- (3) 県立図書館の新作図書情報を受信できます。(RSS配信)
- (4) 返却期限が近づくとメールで返却日を通知します。(返却期限通知メール) (※)
- (5) 自分だけの図書館の蔵書リスト（本棚）が作成できます。(※)
- (6) 気になるキーワードや著者名、タイトル名などの条件を登録しておく、その条件に合う新作図書をメールでお知らせします。(SDIアラートサービス) (※)
- (7) 検索キーワードを入力している途中で、予測されるキーワード候補の一覧が表示されます。  
(キーワード・サジェスト)
- (8) 著者名や出版者、出版年などの条件で絞り込みをすることができ、目的の本が探しやすくなりました。  
(ファセットブラウジング)

## ○平成27年2月15日以前に登録されていたパスワードやメールアドレスが無効になっています

無効になったパスワードとは、皆様が、館内の検索機やインターネットの図書館ホームページから貸出中の本を予約するために使われていたものです。セキュリティに関わる技術的な問題から、前の図書館システムに登録されていたパスワードは無効となっています。平成27年2月15日以前にパスワードを登録されていた方には、仮パスワードが付与されています。

仮パスワードは、生年月日（和暦）6桁の半角数字です。次の例を参考にしてください。

生年月日が昭和50年1月26日ならば、仮パスワードは「500126」です。

生年月日が平成7年12月9日ならば、仮パスワードは「071209」です。

無効になったメールアドレスとは、SDIアラートサービス（あらかじめ登録していたキーワードに関連する新しい本が県立図書館に入ったときにメールでお知らせするサービスです。）の通知を受けるメールアドレスです。平成27年2月15日以前に登録されていた方は、改めてメールアドレスを登録してください。

## ○インターネットからご自分の情報を登録・確認する方法

### (1) パスワードやメールアドレス、その他の設定の変更

- ・ 図書館ホームページ画面（図1）左側上部の「パーソナルメニュー」の中に「利用者情報の変更」（図1-②）とあるので、クリックしてください。
- ・ 図2のとおり認証画面が表示されるので、①利用券の番号と②パスワードを入力してログインください。
- ・ パスワードは、平成27年2月15日以前に登録された方は、仮パスワードとして生年月日が設定されています（上記をご覧ください）。
- ・ 2月24日以降にカウンターで利用券を登録された方は、仮パスワードのレシートをお渡ししているの、その番号を入力ください。

図2



図1

- ・ 図3のとおり「利用者情報変更」画面が表示されるので、必要な設定を行ってください。
- ・ メールアドレスはPCメールと携帯メールの二つを登録できます。
- ・ 「予約関連メール配信先」及び「SDI」、「返却期限通知」は、配信先のメールアドレスを選んでください。
- ・ 「返却期限通知」は、配信するか否かと配信日「1日前」、「3日前」又は「7日前」を選んでください。
- ・ 「予約連絡方法」は「電話連絡」、「メール」又は「連絡不要」のどれかを選んでください。「連絡不要」を選ばれた場合、当館から連絡をいたしませんので、ご注意ください。
- ・ 「電話連絡先」及び「予約受取館」はご利用いただけません。

図3

## (2) 利用状況

- ・ 図書館ホームページ画面(図1)左側上部の「パーソナルメニュー」に「利用状況の確認」(図1-①)とあるので、クリックしてください。
- ・ 図2のとおり認証画面が表示されるので、利用券の番号とパスワードを入力してログインしてください。
- ・ 図4のとおり利用状況が確認できます。
- ・ 「借りている資料」をクリックすると、ご自分が借りている本のタイトルと返却日が確認できます。
- ・ 「予約した資料」をクリックすると、予約している本の自分の待ち順位がわかります。

図4

## (3) SDIアラートサービスの登録

- ・ 図書館ホームページ画面(図1)左側上部の「パーソナルメニュー」の「SDIの登録・変更」(図1-③)をクリックしてください。
- ・ 図2のとおり認証画面が表示されるので、利用券の番号とパスワードを入力してログインしてください。
- ・ 図5のとおり表示されるので「新規登録」ボタンをクリックしてください。
- ・ 図6のとおり「SDI条件入力」画面が表示されるので①「SDIタイトル」の名前を設定します。
- ・ 条件の要素を4個まで入力できます。②に入力してください。条件の種類は「タイトル」、「著者」、「キーワード」などです。
- ・ これらの条件をさらに「含む」「終わる」「始まる」「一致する」などで適用を変えることができます。  
また、複数の条件を「かつ」「または」で結びつけることができます。

図5

図6

ご不明な点は県立図書館へ  
お気軽におたずねください。

問い合わせ先  
0985-29-2596 (閲覧室カウンター)  
0985-29-2956 (企画担当)





## こどもの読書週間

4月23日は「こども読書の日」です。毎年、この日を含んだ約3週間を「こどもの読書週間」として、全国の公共図書館などがいろいろな催し物を企画しています。今年も県立図書館では、特別企画展示をはじめ、「わらべうた講座」、児童室担当職員による「ワークショップ」などを開催しました。

4月25日・26日の2日間は、東京こども図書館で長年わらべうたの講師を務めていらっしゃる森島瑛子先生をお呼びして、わらべうたの実演を取り入れた講座を開きました。公共図書館や保育園などで普段子どもに携わる仕事についていらっしゃる方など、大人対象の講座でしたが、参加者自身がとても楽しめる内容でした。「わらべうた」の調べは、赤ちゃんの心を豊かにする、昔から歌い継がれている親と子のスキンシップの方法です。児童サービスは、今後もこの「わらべうた」の普及に努めていきたいと考えます。

また、5月3日に行われた「ワークショップ」では、牛乳パックを再利用した「くるくる絵本」と六角返しのカードをつくりました。連休中にもかかわらず、たくさんの親子が参加をしてくれました。子どもたちの発想豊かな作品に脱帽の大人たちでした。工作はもちろんのこと、参加された親子が協力し合っ、ひとつのものをつくりあげる時間こそ、家族にとって貴重であると感じました。

今後も県立図書館では、子どもの楽しい読書を応援して、家庭や地域での子どもの読書活動の推進を図って参ります。



ワークショップ「からくりこうさくでおはなし」の様子



特別企画展示の様子



## 参考図書を使いこなそう

みなさん、「参考図書」をご存じですか。調べ物があるときに手がかりを探したりできる事典などのことです。

- |                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| ●一般的な言葉の意味や文字を調べたい | → 辞典・辞書（国語辞典、英和辞典など）  |
| ●専門的な言葉の意味を調べたい    | → 専門用語辞典（音楽用語辞典など）    |
| ●一般的な事柄を調べたい       | → 百科事典                |
| ●最近の事柄やデータを調べたい    | → 白書・年鑑（美術年鑑、教育白書など）  |
| ●絵図や写真を見たい         | → 図鑑（動物図鑑、自動車図鑑など）    |
| ●地域や道路を調べたい        | → 地図（道路地図、住宅地図、地形図など） |

参考図書は、大勢の方が調べ物に利用するため貸出をしていません。使いやすいように参考図書だけをまとめて、カウンターに近い書架に置いてあります。本を読んでいて気になることがあったら、参考図書で調べてみてください。さらに参考図書で調べたことを足がかりに関連図書を探して読めば、知識や話題が広がります。

また、参考図書にはユニークなものもたくさんあります。

<b>【日本全国発祥の地辞典】</b>	明治期以降に起こった産業・文化・歴史の起源を示す発祥の地を都道府県別に収録した辞典
<b>【クリスマス百科事典】</b>	クリスマスに関する世界各国の伝統、食べ物、文学など見出し語1100項目を1冊にまとめた百科事典
<b>【日本怪異妖怪大辞典】</b>	もののけ・化け物から現代の伝承まで、1300余の項目を研究者が解説、紹介
<b>【からだの年齢事典】</b>	人間の発育・成熟・安定・加齢・老化の程度を部位別に整理して人間の身体と心を新たな角度から見直した事典

珍しい参考図書やユニークな専門事典は情報量が豊富で、思いがけない発見もあります。是非一度手にとってご覧ください。



## 「大活字本」を所蔵しています

### 大活字本とは…

弱視の方、高齢者の方にも読みやすいように、文字の大きさや行間等を調整して、大きな活字で組み直した本のことです。文字が大きいため、1冊の本を分冊して出版されることがほとんどです。

現在、県立図書館では、2,600冊以上の大活字本を所蔵しています。



閲覧室（左）と児童室（右）の大活字本コーナー



大活字本の中身

### ●新着大活字本一覧

No.	書名	著者
1	神様のカルテ 1 1～2巻	夏川 草介
2	神様のカルテ 2 1～3巻	夏川 草介
3	神様のカルテ 3 1～3巻	夏川 草介
4	鬼平犯科帳 8 1～3巻	池波正太郎
5	鬼平犯科帳 9 1～3巻	池波正太郎
6	うつぶし 1～2巻	隼見 里奈
7	潮鳴り 1～3巻	葉室 麟
8	下町ロケット 1～3巻	池井戸 潤
9	太陽の塔 1～3巻	森見登美彦

No.	書名	著者
10	謎解きはディナーのあとで 1～2巻	東川 篤哉
11	のぼうの城 1～3巻	和田 竜
12	幕末の尼将軍一篤姫 1～3巻	童門 冬二
13	白鷹伝 1～3巻	山本 兼一
14	蝸ノ記 1～3巻	葉室 麟
15	福袋 1～3巻	角田 光代
16	ほかならぬ人へ 1～2巻	白石 一文
17	ロスジェネの逆襲 1～3巻	池井戸 潤
18	窓の灯	青山 七恵



## ご存じですか？マイライン

マイライン（Miyazaki Prefectural Library Advanced Information Network Systemの略）とは、県立図書館と県内の市町村立図書館・図書室とを結ぶネットワークのことです。

あなたの読みたい本がお近くの市町村立図書館（ただし、宮崎市立図書館は除く。）になく、県立図書館に所蔵しているもの（ただし、雑誌の最新号及び持出禁止の図書資料は除く。）であれば貸し出します。また、県立図書館においでにならなくてもお近くの図書館で貸出・返却ができます。

所蔵しているかどうかは県立図書館のホームページにある「蔵書の検索」からお調べいただき、貸出を希望される方は、お住まいの市町村立図書館にお申し込みください。

マイラインは、お近くの市町村立図書館を通じて県立図書館の所蔵図書資料を利用できる大変便利なサービスです。原則毎週発送しますので、ぜひご利用ください。



## 読書団体の支援を行っています

県立図書館では、「読書団体」に長期で大量に貸出を行うことで、読書を通じて団体による読書活動を促進し、継続的な読み聞かせ活動などの社会貢献を支援しています。

「読書団体」とは、県内において原則5人以上のグループを形成し、次の活動を定期的に行う団体です。

- (1) 自宅等で文庫を開設し、第三者に本の紹介・貸出を無料で実施している団体
- (2) 公共施設で、読み聞かせなどのボランティアを実施している団体
- (3) 図書資料の研究や小説・俳句・短歌等の会を実施している団体
- (4) 読書の推進に関する講座・講演会等を企画し実施している団体
- (5) その他、県立図書館長が認めた団体

詳細については、普及支援担当（電話0985-29-2956）までお問い合わせください。



# 県立図書館イベント情報



第1回緑陰コンサートの様子

## ◆◆緑陰コンサート◆◆

5月2日当館南玄関前広場にて第1回緑陰コンサートを開催しました。さわやかな風が吹き抜ける中、第1部は宮崎市立木花中学校吹奏楽部の演奏でスタートし、次の第2部では、NHK宮崎放送局による絵本の読み聞かせ、第3部では再び木花中学校吹奏楽部による演奏を披露していただきました。

木花中学校吹奏楽部は昨年に引き続きの出演で、自ら司会進行を務め、楽器の紹介をしたり、「恋するフォーチュンクッキー」「ようかい体操第一」の演目では、演奏に合わせてダンスを披露するなど子どもから大人まで楽しめる内容でした。NHK宮崎放送局の絵本の読み聞かせでは、竹田キャスター、山本キャスター、横山キャスターが出演し、「ぴょーん」「へんしんマラソン」「にゃーご」「しりとりのだいすきなおうさま」の4作品を表現豊かに朗読していただきました。小さい子供たちは、観客席前に用意したブルーシートに座り、まちかたで絵本を楽しんでいました。

### ～今後の緑陰コンサート～

- 第2回 8月23日(日) 夏のレコードコンサート
- 第3回 10月25日(日) 吹奏楽部による演奏や読み聞かせ
- 第4回 12月23日(水) 冬のレコードコンサート
- 第5回 3月13日(日) 春のレコードコンサート

### ～緑陰セミナー～

- 8月2日(日)
- 環境について楽しく学べる映写会やワークショップ

## ◆◆視聴覚イベント◆◆

7月から10月にかけての「図書館子ども映写会」「図書館シアター」上映予定作品をご紹介します。今年には戦後70年の節目にあたるため太平洋戦争にちなんだ作品(※)も上映予定です。

**会場：**県立図書館2階視聴覚室  
**定員：**100名  
**入場料：**無料

〈図書館子ども映写会〉上映開始時刻は、いずれも午前10時からです。

7月19日(日)	※「キクちゃんとおオカミ」
8月9日(日)	※「さよなら、アルマ～赤紙をもらった犬～」
9月19日(土)	「忍たま乱太郎～忍術学園全員出動!の段～」
10月18日(日)	「ダンボ」



〈図書館シアター〉上映開始時刻は、いずれも午後1時30分からです。

7月3日(金)	「あしたの Pasta はアルデンテ」(2010年:イタリア)
7月19日(日)	※「南十字星」(2009年:日本)
8月9日(日)	※「真珠湾からの帰還～軍神と捕虜第一号～」(2011年:日本)
9月1日(火)	※「エクレール～お菓子放浪記～」(2011年:日本)
9月19日(土)	「バビロンの陽光」(2010年:イラク他7カ国合作)
10月18日(日)	「ミルコのひかり」(2005年:イタリア)

## ◆◆おはなしのへや◆◆

児童図書室では、図書館員とボランティアの皆さんが、子どもたちに、絵本の読み聞かせ・おはなし(ストーリーテリング)を行う「おはなしのへや」を開いています。毎月第4火曜日には、NHKアナウンサーによる読み聞かせもあります。(9、12月を除く)

- 毎週火曜日 14時～14時30分
- 毎週水曜日 15時～15時30分
- 毎週土曜日 15時～15時30分 幼児向け
- 15時30分～16時 小学生向け
- ※祝日は行いません。

## ◆◆子育て相談おはなし会◆◆

県立図書館では、宮崎県看護協会と連携し、「子育て相談おはなし会」を実施しています。子どもと一緒におはなしを聞いてリラックスした雰囲気になったところで、育児について困っていることなどをお話してください。

経験豊富な助産師さんや先輩お母さんのアドバイスももらえます。事前申込みは不要です。お気軽にご参加ください。

- 毎週第1火曜日(6月～3月)
- 14時～16時30分

## みどりの図書館フェスタ 11月3日(火・祝)

今年も年に1度の県立図書館最大のイベント「みどりの図書館フェスタ」を行います。今年もさまざまなイベントを企画してお待ちしております。どうぞお楽しみに!!



## ● 郷土を学び、郷土を考える

～宮崎の歴史と文化に出会う時間～

展示会・講座名	開催日・会期等	会場・時間等
特別展「戦後70年記念 戦争の証言」 特別展「近世成立期の日向国」 企画展「英雄伝と偉人伝」	7/7(火)～8/16(日) 9/15(火)～11/8(日) 1/26(火)～3/13(日)	2階特別展示室 開室9:00～17:00
巡回展 「佐土原藩島津家日記にみる江戸と日向国」	6/9(火)～6/28(日) 8/1(土)～8/19(水) 12/1(火)～12/20(日)	日向市立図書館 日南市小村記念館 えびの市歴史民俗資料館
共催展(主催:宮崎県埋蔵文化財センター) 「考古速報展」	8/22(土)～9/6(日)	2階特別展示室 開室9:00～17:00
文化講座① 「宮崎県の縄文時代草創期遺跡」  文化講座② 「みやざき地質ガイド —郷土宮崎を知るツールとしての地質学—」  文化講座③ 「絵はがきの語る歴史」	6/27(土) 講師:秋成雅博氏 (宮崎市教育委員会)  7/25(土) 講師:赤崎広志氏 (県埋蔵文化財センター)  9/26(土) 講師:武田信也氏 (宮崎県地域史研究会)	2階視聴覚室 13:30～15:30 (各回共通)
古文書講座「嶺南文庫」を読む(全3回) 講師:中元暢一氏 (みやざき歴史文化館ボランティアの会 会長)  古文書講座「萬覚書」を読む(全2回) 講師:大賀郁夫氏 (宮崎公立大学教授)	2回目▶6/25(木) 3回目▶7/23(木)  1回目▶10/24(土) 2回目▶11/14(土)	2階視聴覚室 13:30～15:30 (各回共通)

※6月中旬以降の行事を紹介しています。

## ● 館蔵資料の紹介

### 「島津以久公 肖像」

島津以久は、島津宗家16代貴久の弟忠将の子として、天文19年(1550)、大隅国(鹿児島県)始良郡の清水城(鹿児島県霧島市)で生まれました。11歳のとき、父が戦いで討死したため、成人するまで伯父の貴久に育てられました。文禄4年(1595)には種子島・屋久島などに1万石を領して種子島に移り、慶長4年(1599)には大隅半島に1万石余を領して垂水に移りました。以久は分家の出身ではありませんが、豊後国(大分県)から日向国(宮崎県)に攻め寄せてきた大友宗麟との合戦や、豊臣秀吉の朝鮮出兵、島津氏家中の内乱(庄内の乱)などで軍功をあげ、さらに、島津本家の当主義弘の後継者をめぐる評議で、義弘の三男忠恒(のちの家久)を推して継嗣とした経緯もあることから、島津氏本家から強い信頼を得るようになります。

この後、慶長5年(1600)の関ヶ原の戦いで、島津氏は西軍の石田三成に与したこと、島津氏領の佐土原は東軍の徳川氏により没収されましたが、徳川家康に謝罪を重ねたことなどが奏功し、慶長8年(1603)、佐土原藩3万石を安堵され、これにより江戸幕府のもとでの佐土原藩が発足します。宗家と関係の深い以久は初代藩主に任ぜられました。

入封後の以久は、城の補修に着手し城下町を整え、造林、社寺の造営などにも力を入れ佐土原藩の発展の礎を築きましたが、慶長15年(1610)、60歳で京都の伏見で没しました。

なお当館貴重書庫収蔵の「島津以久公 肖像」は、過去、貴重資料を公開する企画展などを通して、当館2階の特別展示室で何度か公開しております。またテレビ放送でも使用されるなど県内外の歴史研究者になじみ深いものです。本年度9月15日(火)からの特別展「近世成立期の日向国」でも展示予定ですので、是非ご覧ください。



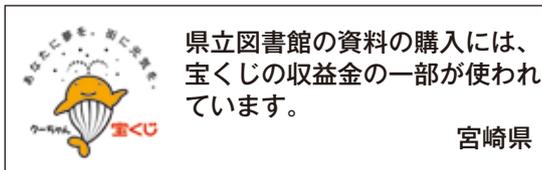
島津以久公肖像

(参考資料『宮崎県史 通史編 近世下』2000、宮崎日日新聞社『宮崎県大百科事典』1983)

# 使って便利！図書館サービス

## ■開館時間延長のお知らせ

平成27年4月から、閲覧室における日曜・祝日の開館時間を延長しました。



(旧) 午前9時から午後5時まで → (新) 午前9時から午後7時まで  
※児童室は従来どおり午後5時まで

## ■障がい者サービス

「障がいがあって外出が難しいから、図書館に行けない」、「病気・高齢で本の字が読みにくくなった」、「手がしびれてページがめくれない」といった図書館利用が困難な方へのサービスを行っています。詳しくは県立図書館（電話0985-29-2972）までお問い合わせください。

### 「障がい者サービス」の例

#### ①来館が困難な方への郵送サービス

身体障害者手帳（1・2級、内部障害は1～3級）、精神障害者保健福祉手帳（1・2級）、療育手帳（A）をお持ちの方で、県立図書館への来館が困難な方へ郵送（無料）で図書を貸し出します。

#### ②音声録音図書及び再生機器の貸出

視覚障がいや他の障がいなどで本が読めない方へ音声録音図書（CD盤DAISY録音図書）を貸し出します。また、DAISY録音図書の再生機器をお持ちでない方には機器も貸し出します。

録音図書の貸出サービスは、障害者手帳等お持ちでない方であっても、活字をそのままの大きさと読むことができない、ページをめくることができないなど、活字による読書が困難な方であれば利用することができます。

## ■レファレンスサービス

資料をお探しのとき、何かを調べたいときは、一般閲覧室4番カウンターをご利用ください。図書館員が本の紹介や情報提供等を行っています。例えば・・・「郷土料理の作り方を知りたい。」「方言について調べたい」・・・など。

電話、FAX、電子メール等でも受け付けています。どうぞご利用ください。

## ■複写サービスについて

著作権法では、著作権者の許可なく、資料を複製することができません。しかし、図書館では、次の条件を全て満たす場合に限り複製が可能です。（著作権法第31条）

- ①図書館の資料であること
- ②調査研究のためであること
- ③著作物の一部分（半分以下）であること
- ④利用者1人につき、1部であること



料金は白黒は1枚10円、カラーは1枚50円、マイクロフィルムの複写は1枚50円です。なお、事前に申込みが必要ですので、ご希望の方は3番カウンターでお申し込みください。

### 「ふるさと宮崎を学びませんか」

置県130年記念「宮崎の魅力実感！美・図・博 3館見学ツアー」募集中！  
（お問い合わせ）宮崎県総合博物館 総務課 TEL0985-24-2071

#### ご利用案内

開館時間 ■一般閲覧室：9:00～19:00  
■児童図書室：9:00～17:00  
休館日 ■毎週月曜日（祝日の場合翌日）  
年末年始：12/28～1/4  
特別整理期間：2/15～2/22

#### 編集・発行

#### ● 宮崎県立図書館

住所 ■〒880-0031 宮崎市船塚3丁目210番地1  
TEL ■0985-29-2911（総務・企画課）  
FAX ■0985-29-2491（総務・企画課）  
HPアドレス ■<http://www2.lib.pref.miyazaki.lg.jp>  
携帯アドレス ■[http://www.lib.pref.miyazaki.lg.jp/i\\_index.htm](http://www.lib.pref.miyazaki.lg.jp/i_index.htm)

